

夏期対象期間 年 月 日～ 年 月 日

1次考課者 印

冬期対象期間 年 月 日～ 年 月 日

2次考課者 印

氏名 印

区分	要素	着眼点	評点	自己	1次	2次	最終
加 点 評 価	目 標 チ ャ レ ン ジ	行 動 テ ー マ	目標とした テーマ・内容 注)必ずRPDC化して遂行する	A・B・C			
		目標とした テーマ・内容 注)必ずRPDC化して遂行する	A・B・C				
困難:A(3点)…かなり困難な目標 B(2点)…難しい目標 C(1点)…現状の能力レベル 評価は困難度×達成度:達成基準3点…申し分ない。2点…よくやった。1点…もう少し							
態 度 ・ 意 欲	協 調 性	S:上司、同僚、他チームの人とのコミュニケーションは非常に円滑であり模範となる A:上司、同僚、他チームの人とのコミュニケーションは円滑である B:上司、同僚とは良いが他チームとはいまいちである C:自己本位であり、協調を乱すことがときおりある	12 9 6 3				
	積 極 性	S:仕事を完遂する気迫にあふれ、他へも感化した A:常に与えられた仕事以上のことを果たした B:人並みのことを成し遂げた C:消極的で困難な仕事を避ける傾向があった	12 9 6 3				
	責 任 感	S:仕事は万難を排し達成した A:問題が発生した時の報告・連絡も良く、仕事もしっかり遂行した B:人並みのことは成し遂げた C:やや責任感に欠けており、責任を転嫁することもあった	12 9 6 3				
	規 律 性	A:他者の模範となり秩序の確立に貢献した B:規律を守り、また職場(チーム)の秩序維持に努力した C:ときおり気を抜くところがあり、注意することもあった	6 4 1				
	コ ス ト 意 識	S:常にコスト意識を持ち、効率的に仕事を進め、他者に良い影響を与えた A:積極的に効率向上に努め、成果を生み出した B:効率性を意識した行動をしているが、成果が顕在化しない C:意識・行動にムダ・ムラ・ムリが若干ある	8 6 4 2				
	自 己 啓 発	S:前期の意識、技能に比べ成長は目覚ましく、常に問題意識をもっている A:前期の程度に比べその成長は優れていた。問題改善にも前向きである B:一応の努力はしている C:やや停滞気味で、努力に不足を感じる	8 6 4 2				
成 果 ・ 能 力	知 識 ・ 技 能	S:上位等級に十分通用する高度な知識・技能がある A:十分に満足するものを持っている B:満足するものを持っている C:満足に近いものを持っているが、今一步の努力が必要である	8 6 4 2				
	理 解 度	S:難しい指示でもかなり早く理解し、計画化へ移行した A:難しい指示でも理解できた B:日常の仕事の範囲内で理解ができた C:早合点や早のみ込みする 때가あった	8 6 4 2				
	注 意 度	S:念には念を入れて仕事をし、やり直し仕事はなかった A:細かなところまで注意し、業務を遂行できた B:良く考え、注意深く仕事をする方であった C:やや細かな点の気配りが欠けることがあった	8 6 4 2				
	完 遂 度	S:一度、口にしたことは必ず達成させ、信頼できた A:期待通りの成果を上げている B:最後までやり遂げる努力は見受けられた C:状況によって最後までやり遂げることができないことがあった	18 14 10 6				
合 計				点	点	点	点
自 己 反 省		自 己 目 標					コ メ ン ト